

# 地域包括支援センター坂下通信

## 認知症による実行機能の障害について

例えば、食事の用意に関して、

・健康な人は、スーパーで大根を見て、「冷蔵庫に油揚げがあったから、一緒に味噌汁を作ろう」と考え、大根のみを買って油揚げと大根の味噌汁を作ります。認知症になると、冷蔵庫の油揚げのことは忘れて大根と一緒に油揚げも買ってしまいます。ところがいざ夕食の用意にとりかかるとさっき買ってきた大根も油揚げも忘れてしまっています。そこで、冷蔵庫を開けて目に入った別の野菜で味噌汁を作り、買ってきた大根と油揚げは冷蔵庫に残ります。こういうことが何度も起こり冷蔵庫の中に同じ食材が大量に残ってしまう、ということがあります。




その他にも・・・

・最近パンばかり食べているので、子どもが聞くと「このパン美味しいからね」など言うので「そうなのかな」と思っていた。一緒にカレーを作った時「ご飯を炊いてね」と言っても、洗米をすること、水の分量、炊飯ボタンを押すことなどにまごつき、「これでいいかね？」とひとつずつ確認する姿を見て、炊飯の手順がよく分からなくなっていることに気がついた。炊飯ボタンのところに「ここを押す」など分かりやすい印をつけることや、「水は3までだよ」など声をかけをれば自分でできるので、その後は声をかけながら一緒に行くようにしている、などなど。



上記のように、認知症になると頭の中で予定を立てて計画的に物事を進めたり、並行して何かをしたりする等できないことが増えてきますが、「何もできない」わけではありません。誰かが少し声をかけたり、手助けをすることで、自身でできることがたくさんあります。ご本人が持っている力を活かして生活できるような関わりをしていきたいですね。

 地域包括支援センター坂下  
春日井市神屋町1306-1  
☎：93-1314  
開所時間：月～金曜日 9:00～17:30

出前講座開催、福祉サービス等の



ご相談は 左記まで

担当：飯田、戸田、杉山、伊藤

# 当センターの通信が季刊発行へ変わります

「地域包括支援センター坂下通信」の発行について  
高齢者の方々に活用していただけるような情報や地域包括支援センター坂下の活動などを地域の皆様にご覧いただくために平成19年から毎月発行してきました当センターの通信は、おかげさまで今回で150回目の発行となりました。  
この間、自治会、区会の役員の皆様方など多くの方のご協力をいただき、毎月地域の回覧板での回覧をしていただき、大勢の皆様を目にふれる機会を作っていただきましたことに、職員一同大変感謝をしております。  
今回、業務内容の見直しと地域の皆様へのご負担の軽減を目的に発行回数の変更をすることになりました。  
今後は、**年4回の季刊発行**とさせていただきます。引き続き、地域の高齢者の皆様にお役に立つ情報をお伝えしていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 「地域包括支援センター坂下」のご案内

地域包括支援センターは、春日井市の委託により運営される高齢者に関する総合相談機関です。支援が必要な高齢者やその家族の状況に応じた各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、情報提供や関係機関との連絡調整などを行います。相談は無料です。お気軽にご相談ください。



悩み 疑問 相談ごと  
1人で抱えこんでいませんか？

### ① 様々な相談ごと (総合相談)

- 近所の一人暮らしの高齢者が心配
  - 高齢者の住まい・施設について知りたい
- など



### ② 権利を守ること (権利擁護)

- 悪質な訪問販売の被害にあった
  - 財産管理に自信がなくなったときは？
  - 虐待にあっていている人がいる
  - 虐待をしてしまう
- など



こんなとき  
お役にたちます！！

## 地域包括支援センター



### ③ 介護や健康のこと (介護予防ケアマネジメント)

- 介護予防に取り組みたい
  - 要介護認定の申請を頼みたい
  - 身体の機能に不安がある
  - 今の健康を維持したい
- など



地域包括支援センターでは、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが中心となって、高齢者の支援を行います。専門分野の仕事だけを行うのではなく、互いに連携を取りながら「チーム」として総合的に高齢者を支えます。

### ④ 暮らしやすい 地域のために (包括的・継続的ケアマネジメント)

- 病院から退院した後の事が心配
  - 地域ケア会議
- など

